

—退職者に送ることば—

生活の基調となる 個の文化



広島大学長

田 中 隆 莊

このたび、この三月をもつて本学から六八名の方が退職されます。ご退職の方々をお送りするにあたり、一言お祝いの言葉を申し述べます。

退職は、生活と幸福の新たな基調をつくる機会であります。日々を大切に扱い、仕事を工夫する契機だと考えます。丁度いま、私達は、自分をとりもどし、主体的な生活様式、すなわち個の文化を基調とする生き方が評価される時代を迎えていました。生涯学習社会、これは個の文化の一つの具体的現象であります。

個の文化の時代を迎えて、価値感が激しく変化しています。たとえば、自然観が大きな回帰点に立っています。人間は長い間に自然に対して、様々な価値を抱いてきました。ところが、科学と技術の急速な進歩にとらわれているうちに、自然を人間の利用価値の対象とする傾向が強まり、自然を構成する大小様々な規則性の解明とその部品化、さらにその部品を組み立てて活用する対象として見るようになつたのであります。その行き過ぎが、潜伏している規則性を醒めさせることとなり、地球環境問題に象徴されるように、改めて自然が顕在している規則性のバランスであるという自然観を学ぶことになつたのであります。これから、この自然観に基づく新たな価値を学問的に構築することが必要なのであります。

このたび、この三月をもつて本学から六八名の方が退職されます。ご退職の方々をお送りするにあたり、一言お祝いの言葉を申し述べます。

退職は、生活と幸福の新たな基調をつくる機会であります。日々を大切に扱い、仕事を工夫する契機だと考えます。丁度いま、私達は、自分をとりもどし、主体的な生活様式、すなわち個の文化を基調とする生き方が評価される時代を迎えていました。生涯学習社会、これは個の文化の一つの具体的現象であります。

一方で、激変する国際情勢がその根底をなす二つの現象、すなわち経済的発展国に起きている連帶と協調の現象と、それと対照的に起きている民族の分離独立願望の根強い個の現象とを見るとき、価値基準の多層化時代が到来していることを知ります。そこには既成の学問、すなわちこれまでの発展の学問よりも、調和の学問が新しく必要になつてきている時代がきていたことがわかるのであります。

自然科学の世界では、事実から一般へといふ基本論理があります。個から普遍への論理であります。価値基準が多層化する個の文化の時代においては、一人一人が自主独立に、自分の五感と手足で真実を摑み、自分の専門から考えて、身の周りすなわちローカルに、そしてグローバルに行動することが求められます。個の文化は、時代変化とこれからの人間のためにあるのであります。

本学の新たな充実の時期を迎えて、皆さんを本学からお送りせねばならないことは、まことに残念であります。皆さんに、これからも本学を見守つていただきことを希望します。

職務を全うして退職を迎えるということは、まことにめでたいことであります。果された職責に深い感謝と敬意を表し、ご健康を念じて、お祝いの言葉といたします。